

# 西伊豆健育会病院

看護部 安里真優

**功 績** 特技の三線を生かし、率先して地域の敬老会を盛り上げ、今までになかった新たな地域活性化に貢献した功績。

**推 薦 者** 大村 啓子 看護部長

**推 薦 理 由** 安里看護師は誰に対しても「感じがいい」職員の一人です。患者家族、チームメンバーと気持ちよく対話ができること、また自分に与えられた任務を誠実に成し遂げることが患者満足度調査の個人メッセージにもつながっていると考えます。

この度、少子高齢化地区の敬老会で、出し物がなくて困っているとの情報があり職員に持ち掛けたところ、安里看護師が「私でよろしければ喜んで。」「久しぶりなので練習します。」「沖縄から自分の三線を持ってきます。」とここでも安心感のある誠実な対応をしてくれました。

看護師としてはまだ2年目ですが経験年数だけでは測れない看護師に求められる共感力、柔軟性、判断力があり更なる成長が期待できます。

## 内 容

安里看護師はR5年4月に鳳凰高等学校より入職。現在、社会人2年目、3階の地域包括ケア病棟で勤務しております。

西伊豆健育会病院では、以前から地域共生を目指し運営しております。医療体制を維持してゆく事に加え、特に今年度では地域活性化に注力。新たな活動を模索中でした。そんな中、看護部長より南伊豆町の地区敬老会で企画募集中の情報を入手。早速、病院内の職員に協力の声掛けを実施したところ、安里看護師が率先して手上げをしてくれました。安里看護師は沖縄出身で伝統楽器の三線を幼少期より習い、弾けるとのこと、早速、楽器・衣装等を手配して参加。

安里看護師は当日、三線を自分で弾きながら、沖縄民謡を2曲披露しました。三線に合わせて参加者全員で「ふるさと」を歌いました。腕前もなかなかのもので敬老会を盛り上げてくれました。

安里看護師は社会人経験は短いものの、普段より持ち前の明るさと心のこもった親身な対応で日々業務に取り組んでいる職員です。特に定期的実施している”患者満足度調査”では職員宛のメッセージ等で定期的に名前が挙がってくる職員です。「安里看護師さんにとっても良く話を聞いてくれて良かったです。ありがたかった。」「看護師安里さん、良く励ましてくれました。」等の言葉は病院の評判を高める事に繋がっています。

以上の2点を踏まえて、安里看護師を理事長賞へ推薦します。